

正会員、運営委制などを導入

5年目の総会、規約を全面改正



総会のあいさつで5年目の決意を述べる矢部孝男代表



にいがた映画塾通信

第16号(2002)
編集・発行
にいがた映画塾
〒950-0086
新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル
電話・ファクス
025-248-9088

映画塾も5年目。規約の全面改正など、新たなスタートを切りました。一月十二日(土)、新潟市万代市民会館視聴覚室で開かれた二〇〇二年度総会では、規約改正のほか、〇二年度の活動計画、予算などが承認されました。新規約は正会員・準会員制度の導入や、運営委員会の本格導入などが柱。これを受け一月十七日に第一回運営委員会が開かれ、細則などを決定しました。また定例会を衣替えし、多くの会員が意見を交換し合う全体会が一月二十四日から始まりまし

「全体会」もスタート

【正会員制度】正会員 払っていない会員のこと
は別表の会費を支払う会
員のことです。準会員
は、映画塾の講座(第1
期 6期映画塾、シナリ
オ講座)の卒業生とス
タッフのうち、会費を
催イベントでの特別料金

などの特典があります。
また、準会員は映画制
作の相談や機材の貸出を
受けられますが、機材レ
ンタル費は正会員より若
干割高になる予定です。
また、「NG」は一年間
だけ送られますが、二年
目以降の郵送は受けられ
ません。

映画塾会員はこれま
で、講座の卒業生は全員
会員とし、会費ゼロでも
有料会員と区別しないと
いう考えでした。しかし
会員数がいまいちのま
までは、会議の定足数な
どに支障をきたす。「N
G」の郵送料が膨らみ、
運営の負担になっている
現実と、「講座卒業生は
みな会員」という映画塾
の精神を両立するため、

正・準という線引きをや
むを得ず設けることにな
りました。準会員の方
は、これを機に正会員に
なるようお願いします。
【運営委員会・全体
会】運営委設置の最大の
目的は、「全体会」の活
性化です。
これまででは月二回の定
例会で運営面もみんな
話し合っていました。が
「細々した話に参加した
くない」という声も多
く、事務所の管理や予
算、活動の実務面などは
運営委が行い、全体会
は活動の現状報告や参加
の呼び掛け、雑談などを
中心に行っていくことに

第7期へ準備始まる

【〇二年度活動計画】
新規事業は「会員データ
ベースの整備 役者隊結
成」と、「P P R O
J E C T S シアターへの
支援」の二つ。映画塾の
アイデンティティともい
うべき「第7期講座」の
開催も決定しました。第
7期については現在、毎
週おもに水曜日話し合
いを行っています。
特に第6期卒業生の方
は昨年の興奮を後輩たち
にも伝えませんか? 積
極的なスタッフ参加をお
願います。(2面に続

運営委に13人
矢部代表留任
総会は、二十三人の出
席と二十二人の委任状が
寄せられました。議長に

豊島裕之さん、副議長に
長沼朝夫さん、書記に金
沢良美さんを選出。〇
一年度の活動報告、決算
規約改正、役員改選
〇二年度活動計画 予算
の六議案について話し

合いを行い承認や役員選
出が行われました。
役員は十三人の運営委
員と、二人の監事が選任
され、この中から矢部代
表とナシモト、井上副
代表があらためて選ばれ

ました。笹崎副代表は監
事となりました。新役員
は以下の通り。(新)は
岡慎治(新)、加藤陽子
(新)、土田雅之(新)、渡
辺典子、長沼朝夫(新)
【副代表】ナシモトタ
オ、井上朗子【運営委
員】五十嵐政人、星龍
島春夫(新)

雄、伊藤貴子、吉田健明
事となりました。新役員
は以下の通り。(新)は
岡慎治(新)、加藤陽子
(新)、土田雅之(新)、渡
辺典子、長沼朝夫(新)
【副代表】ナシモトタ
オ、井上朗子【運営委
員】五十嵐政人、星龍
島春夫(新)

2002年度会費納入を!

映画塾は会員の皆さんの会費で支えられています。ぜひ正
会員になって下さい。

会費 年6000円、同12000円、同24000円、同36000
円、同3000円のいずれかから選べます(郵便口座から毎
月の自動引き落としもできます)

払い込み先 現金を映画塾役員に支払うか、下記の口座に
振り込んで下さい。振込先の名義はいずれも「にいがた映
画塾」です

郵便振込口座 00680--4-18088

銀行振込口座 第四銀行本店営業部 2199451

詳しい手続きは電話かメールでおたずね下さい。

正会員の特典

- (1) 映画塾通信NGが毎回送られます
- (2) 映画制作の相談が受けられます
- (3) 映画塾の事務所を無償で使用できます
- (4) 映画塾が管理する機材を正会員料金で借りることが
できます
- (5) 映画塾主催のイベントに特別料金で入ることができ
ます
- (6) 会員証が発行されます
- (7) 映画塾ライブラリーが利用できます

お問い合わせ

電話025-248-9088(映画塾・矢部)

Eメール mail@n-eigajyuku.com

準会員について

第1期 6期の映画塾とシナリオ講座の卒業生で、0円
会員の方は準会員となります。正会員との違いは次の通り
です。

- (1) 映画塾通信NGは初年度のみ送られます(これまでの
0円会員は今年度限りです)
- (2) 機材を借りる際は準会員料金となります
- (3) 事務所を話し合いなどで借りるときは、正会員が最
低一人必要です
- (4) イベント特別料金は適用されません
- (5) 会員証は発行されません

なお、映画制作の相談やライブラリー利用は正・準分け隔
てなく受けることができます。

全体会は毎月第3木曜日午後7時半から
2月21日 3月21日 4月18日
会員はどなたでも参加できます!

2001年度決算

収入の部			
項	目	予算額	決算額
会費		630,000	675,000
ビデオ売上		2,000	21,650
機材使用料		30,000	28,000
リソグラフ使用料		80,000	52,500
コピー使用料		100,000	26,000
インディーズ残金		40,000	40,000
フリーマーケット		88,000	24,152
繰越金(前年度残金)		95,746	95,746
" (未収入金)		136,059	136,059
その他		28,195	55,702
合計		1,230,000	1,154,809
支出の部			
項	目	予算額	決算額
家賃		300,000	300,000
光熱水費		120,000	120,000
通信費		108,000	105,685
事務所雑費		47,000	24,751
電話代		120,000	57,757
ホームページ		48,000	48,000
消耗品費		22,500	16,990
書籍費		8,000	0
リソグラフ費		120,000	48,748
コピー使用料		120,000	62,081
ビデオ編集費		1,000	0
出品料		12,000	6,000
連盟会費		10,500	10,500
事業費		63,000	60,000
専従手当		120,000	120,000
事務費		10,000	9,320
FC設立事業費		48,000	48,000
合計		1,278,000	1,037,832

決算備考：収入の「会費」は102人分、「未収入金」はシナリオ講座コピー使用料、インディーズなど。「その他」は前年度リソグラフ使用料、体操ビデオ制作費など。支出の「出品料」はあきる野映画祭エントリー料。「連盟会費」は県アマチュア映像連盟会費。

2002年度予算

収入の部		
項	目	予算額
会費		726,000
機材使用料		60,000
リソグラフ使用料		50,000
コピー使用料		10,000
事業協力費		200,000
機材費繰入金		90,000
繰越金		116,977
その他		27,023
合計		1,280,000
支出の部		
項	目	予算額
家賃		300,000
光熱水費		120,000
通信費		108,000
事務所雑費		25,000
電話代		60,000
ホームページ		33,600
消耗品費		10,000
リソグラフ費		48,000
コピー使用料		60,000
連盟会費		10,500
事業費		153,000
機材費		120,000
専従手当		120,000
事務費		11,900
予備費		100,000
合計		1,280,000

予算備考：「会費」は82人分を見込む。「事業協力費」はインディーズ、第7期映画塾、上映会。機材費繰入金はシネパン残金、「映画が街にやってきた」寄付金残金、「その他」はフリーマーケットなど。支出の「事業費」はラジオ制作、FC運動費、データベース(役者隊)、NG印刷代

会費収入はギリ貧状態

【〇二年度予算】収入は〇一年度より五万円増の百二十八万円を見込んでいますが、率直に目標達成はかなり

厳しい状況です。会費収入は八十二人から計七十二万六千円を見込んでいますが、一月末現在で三十八人、四十一

万八千円(毎月引き落とし予定額含む)しかありません。また、新設の支出枠の費に回ったため、いよ過去の資産を食いつぶさなければならぬかもしれません。

新しいシネパン残金や寄付金を吐き出すことになりました。繰越金十一万円は足りませんが、十万円の予備費に回ったため、いよ過去の資産を食いつぶさなければならぬかもしれません。

新規支出は、ビデオデッキや映写機などに故障の恐れが出てきたことや新規機材積り立てのため、機材費として十二万円を予定しています。また役者隊事業費やFC設立運動費などを当初事業費に盛り込みました。

2002年度活動計画

1. 定期的活動(全体会の開催、整理整頓、新会員獲得など)
2. 機材の整備(機材を収集し管理し貸し出す)
3. NPO設立準備活動
4. 第7期にいがた映画塾
5. にいがた映画塾通信NGの発行
6. 映画塾コム(ホームページを定期的に更新する)
7. 上映会の企画・開催(定期的に会員作品と会員外の作品を上映する)
8. ライブラリーの充実
9. 交流の促進
10. 作品製作の支援、協力、応援
11. 映画塾作品の上映(映画塾の作品を外部で上映したり、コンクールに応募したりする)
12. 会員データベースの整備(役者隊結成など)
13. ラジオ番組の制作(FM新津で「いつでもリハーサル!」が放送中)
14. フィルムコミッション設立活動
15. P-PROJECTSシアターへの支援
16. 共催、関連事業(「にいがたインディーズムービーフェスティバル」など)

2代目はノリ・ジュンコンビ いつでもスタッフを募集中!



ノリちゃんこと渡辺典子さんと、タカジュンこと高橋純子さん

授番組(ウソ)、「いつでもリハーサル!」です。またまた報告が遅くなり恐縮ですが、一月からリハーサル担当のひでこです。レクター担当のひでこです。またまた報告が遅くなり恐縮ですが、一月からリハーサル担当のひでこです。

またまた報告が遅くなり恐縮ですが、一月からリハーサル担当のひでこです。またまた報告が遅くなり恐縮ですが、一月からリハーサル担当のひでこです。

ノリちゃんこと渡辺典子さんと、タカジュンこと高橋純子さんと、タカジュンこと高橋純子さん

NG読者の皆様、いかがお過ごしでしょうか? 映画を愛するすべての方に毎週日曜、愛と希望に満ちたさわやかな風をお届けしているPTA推し

わたって、ますます充実し映画を愛するすべての方に毎週日曜、愛と希望に満ちたさわやかな風をお届けしているPTA推し

わたって、ますます充実し映画を愛するすべての方に毎週日曜、愛と希望に満ちたさわやかな風をお届けしているPTA推し

わたって、ますます充実し映画を愛するすべての方に毎週日曜、愛と希望に満ちたさわやかな風をお届けしているPTA推し

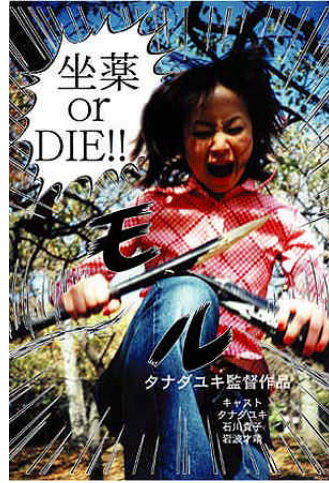
「役者隊」募集を開始!

映画制作の「お助け隊」も参加を協力バンク

映画塾の会員活動の活性化のため、会員の個性を生かせる「役者隊・お助け隊」を企画盛りだくさんにスタートします。今回、NGにはアンケートを同封しております。皆様の多様な意見を期待しています。

役者隊では映画に出たい、エキストラでも参加したいという人たちが募集されています。新潟で映画などをつくる際に多くの人に出演していただければ、運営していく方針

まずは会員のみなさんからのご理解とご協力をお願いし、ぜひ参加して



2月22日に「モル」上映

初の正会員割引

「新潟で映画が撮りやすい環境を」を合い言葉に役者隊・お助け隊は活動していきます。どちらもおみなさんのご協力なくしては出来ません。

(加藤)

にいがた映画塾の本年度最初の上映会を二月二十二日(金)にP・PROJECTSで開催します。上映するのは昨年度の「びあフィルムフェスティバル」でグランプリをとった作品「モル」写真、当作品は特別賞(ヘブリアント賞)も受賞しまし

お気に入り、見て下さい!

23日サノバビッチ サブ

二月二十三日に上映する「サノバビッチ サブ」。私がこの作品を知ったのは、一年前の秋頃の事でした。長塚京三さんの息子の圭史君が主宰する阿佐ヶ谷スパイダースの舞台を観に行った時に、偶然チ

ラシを手にしたのがきっかけです。あまりにインパクトのある写真、そして数々のコメント、興味を持たずにはいられませんでした。その後、周りの人々にチラシを見せたり、「サバ見たい!」と時々ボヤ

は「闇を掘る」のナレションをしにいらっしやる小林三四郎さん、十日には「闇を掘る」カメラマンのコバさんこと小林

茂さんと新大助教授の逸見龍生さんの、監督とのトークショーもありです。皆さん必見ですよ!!(金沢良美)



P・PROJECTSのゲストに訪した、右から「東京ゴミ女」の廣木隆一監督と主演の中村麻美さん、小山田サユリさん

P.PRO

「ラブシネマ」上映中!

3月もラインナップ続々

パレンタインデーは皆さんの心が過ごされましたか?愛の告白はうまく言えたでしょうか。P・PROJECTSでは、ただいま二月二十一日まで「ラブシネマ」を上映しています。

廣木監督をはじめ六人の監督の純愛物語をあつめた「LOVE」な一ヶ月。去る三日には「東京ゴミ女」の廣木監督、主演の中村麻美さん、巻町ご出身の女優、小山田サユリさん、そして「絵里に首ったけ」の三原監督

の舞台挨拶があり、会場は大いに盛り上がりました。二月二十六日、二十七日、二十八日と追加上映もありますのでお見逃しなく!!

P・PROJECTS
今後の上映予定

2月21日(木)まで(19、20日は休館)
「ラブシネマ」(2/26、27、28追加上映あり)

2月22日(金)
「モル」(にいがた映画塾主催上映)
18:00 20:00
入場料: 前売り1000円、当日1200円(映画塾正会員は1000円)

2月23日(土)
「サノバビッチ サブ」(映画塾会員個人企画)
19:00 1回上映
入場料: 前売り1000円、当日1200円

3月1日(金)~10日(日)各回入れ替え制
「闇を掘る」 13:00 19:00
「森と水のゆめ」 10:30 15:00(日曜のみ16:15) 3日、10日は15:00~監督&ゲストトークショーあり
会場・お問い合わせ: P.PROJECTSシアター(プラカ2 5階) 電話025-243-5680
メール p_projects@mac.com(「モル」は映画塾・矢部へ)

さてさて、そんなこの映画の見所ですがやはり、サブとケンの青春っぷりでしょう。正しいと思っただけのこと、無知なばかりに変な方向へ行ってしまったら、人を傷つけてしまったりは。オーバーに描かれてはいますが、結構痛いところついてきます。

もちろんバカ映画なだけあって、つつこみ所も満載です。

新年早々アメリカのトロマダンス映画祭に入選を果たし、ちよつと注目なこの作品。どうぞお見逃しなく!!(山木)

DIARY

(2001年12月19日～2002年2月15日) は関連・共催事業

- 12月
- 19日 第23回定例会
- 23日 「いつでもリハーサル！」第10回 「いつりハ！」的クリスマスの過ごし方！の巻
- 26日 第24回(臨時)定例会
- 29日 大掃除・望年会(事務所)
- 30日 「いつでもリハーサル！」第11回 今年いっねん締めくくり！の巻
- 2002年1月
- 6日 「いつでもリハーサル！」第12回 今年は益々パワーアップ！の巻
- 7日 第1回(臨時)定例会
- 12日 映画塾総会(万代市民会館) 新年会(赤たぬき)
- 13日 「いつでもリハーサル！」第13回 新パーソナリティー、レッツゴーッ！の巻
- 17日 第1回運営委員会
- 20日 「いつでもリハーサル！」第14回 LOVE CINEMA大特集～！の巻
- 21日 第7回新潟FC研究会(新潟商工会議所)
- 24日 第1回全体会
- 27日 「いつでもリハーサル！」第15回 LOVEの後は男臭くね！の巻
- 30日 第7期実行委員会
- 2月
- 1日 P.PROJECTS「LOVE CINEMA」(21日まで)
- 3日 「いつでもリハーサル！」第16回 にいがた国際映画祭特集！の巻
- 4日 第8回新潟FC研究会(新潟商工会議所)
- 6日 第7期実行委員会
- 7日 第2回運営委
- 10日 「いつでもリハーサル！」第17回 もとさのばびっさぶとくしゅ～の巻
- 12日 VIDEO ACT上映会にて「ダイアログ1999」(井上朗子)と「少女の館」(小林康紀)上映(東京・飯田橋)

市民主体型のFC提唱

新潟FC研 24日シンポで販売 中間報告

映画塾が呼び掛け、事務局を務める「新潟フィルムコミッション」(FC研究会)の中間報告が、14日に行われる「FCシンポジウム」から発売される。

「blue」全国初上映！ 安藤監督のあいさつも

二月二十四日のFCシンポでは、昨年夏に新潟市などでロケが行われ、映画塾が協力した映画「blue」を上映します。全国公開に先駆けたプレミア上映です。当日は安藤監督も会場に駆けつけ、舞台あいさつを行います。

シンポのゲストは、韓上也映します。

日程は正午から「blue」上映、午後二時十分から「リペラ・メ」上映となります。シンポは無料ですが、映画は当日券で各八百円かかります。お問い合わせは新潟市国際交流協会、025(226)2053へ。

報告は全四章と資料編

映画やテレビドラマのロケ撮影を誘致・支援する非営利団体、FCの新潟設立に向け、新潟FC研は昨年八月から二月四日まで八回の話し合いを続けました。メンバーは行政や経済団体や市民有志らで、いい大人たちですが、ここまで熱くなるかというくらいに激論を毎回交わしました。その成果となるのが中間報告です。

で構成。FCの定義や全国・新潟の状況から始まり、新潟になぜFCが必要かをまとめています。具体的には、FCの効果といわれる経済効果や街のPR効果、作品の舞台となることによる市民の誇りづくりなど、FCは「まちづくりの新しいツール」と位置づけています。その上で、新潟においては「市民がつくり、市民が楽しむFC」、市民と市民、市民とクリエイターを結びつけるFCなどを目指すべきとし、「市民が主体になり、行政や企業がバックアップするFC」のかた



ブロードバンドで「映画塾シアター」

新しい情報ツールとしてインターネットで販売しているブロードバンド。その中の一ツ、今年開設された「コミックツイスター・ドットコム」の中でにいがた映画塾シアターが設置されました。

ここでは月替りで会員の作品を鑑賞できます。一、二月は井上朗子さんの「うれしいうるみ」、「ダイアログ1999」をそれぞれ公開して

三月以降も会員作品や新潟で生まれた自主映画を順次公開していく予定です。「コミックツイスター」の開き方は<http://www.comictwister.com>を開き、メンバーの中の「Let's go on」をクリック、続いて「映像コミュニケーション・ゾーン」をクリックして下さい。なお、コンテンツご覧の際には、入会、課金事項等を確認してご覧下さい。(矢部)

にいがたシナリオ講座 今年も開講します

「ためになって、面白く、値段がお手ごろ」と好評のにいがたシナリオ講座を今年も下記の要領で実施します。初心者大歓迎。講座のテーマは「人間を描けるハートと技術を持つ作家を生み出すこと」と「処女作作り」。

到達目標は「公募(200字詰め、120枚)に挑戦できる力をつける」。講師は昨年同様、司 貴志。

- ・日時 全8回 全て日曜日 14:00～16:30
- 5/12、26、6/9、23、7/7、7/21、8/25、9/8
- ・場所 新潟市万代市民会館(予定)
- ・受講料 28,000円(入会金、テキスト代、原稿用紙代含む)
- ・定員 20名まで(先着順締切)
- ・問い合わせ先

にいがた映画塾 & Fax025-248-9088 (電話は19時以降にお願いします) または、090-1399-0936 (山口)

メール アドレス: yae_y@rc4.so-net.ne.jp

お手伝いいただけるスタッフも募集します(2名)

にいがた映画塾
お問い合わせ等はこちらへ！

〒950-0086 新潟市花園2-3-2飛鳥ビル
電話・ファクス 025-248-9088
電子メール mail@n-eigaiyuku.com
映画塾コム www.n-eigaiyuku.com

編集後記

第7期開催へ話し合いが始まりました。ご協力を。「編集」星龍雄【題字】宮川直子

学校ビデオ ファイナル

映画塾が撮影した「夢ある学校づくりビデオ」のファイナル上映会が二月二十五日午後五時から、新潟ユニオンプラザで行われます。お問い合わせは025(226)4184、市嶋さんへ。